

# 第26号 すいかずら

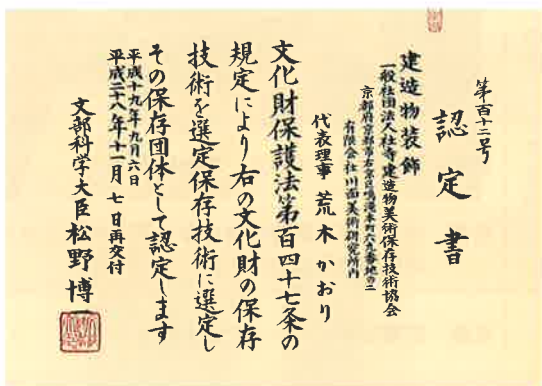
General Incorporated Association  
Shrine and Temple  
Architectural Decoration  
Heritage Skill Association

平成29年3月発行  
編集：(一社)社寺建造物美術保存技術協会  
発行人：荒木かおり  
〒616-8242 京都市右京区鳴滝本町69-2  
(内)川面美術研究所内  
Tel:075-464-0725 Fax:075-464-0099  
http://shabikyo.com/

## 「一般社団法人 社寺建造物美術保存技術協会」設立

平成19年に文部科学省より選定保存技術保存団体の認定を受け、これまで多くの関係各位にご指導ご鞭撻、ご協力を賜りながら活動を続けてまいりました「社寺建造物美術協議会」をこの度発展的に解消し、平成28年8月1日をもって「一般社団法人 社寺建造物美術保存技術協会」を設立いたしました。

文化財建造物装飾に関わる伝統技術の継承そして発展のため、更なる活動の充実を図ってまいりますので、今後とも当協会の活動に積極的なご参加、ご協力をいただけますようお願い致します。



## 「研修合評会」開催



平成28年5月27日、京都センチュリーホテルにて、平成27年度研修成果の発表の場として「研修合評会」を開催しました。研修は、平成26年度より三部会での実施スタイルとなり、平成27年度は、丹塗・彩色部会では「軒支輪板」彩色、漆部会では「箱定盤」製作、金具部会では「模型垂木先取付金具」製作の内容で各々進めました。

今回、その研修成果を一堂に集め展示するとともに、研修生がそれぞれ施工に工夫した点、苦労した点などを発表し、各部会の部会長の講評を伺いました。金具は、合評会当日に、模型への取り付け作業もあわせて行いました。

また、文化庁 文化財部参事官 田中禎彦様、(公社) 全国国宝重要文化財所有者連盟 常務理事・事務局長 後藤佐雅夫先生より総評をいただきました。

なお、当協会認定制度に基づき「認定証」を発行、合評会の後に授与式も行いました。



## ● 平成28年度 年間事業報告 ●

平成28年	活動 (●は国庫補助事業)	場 所
5月23日	第1回 理事会	京都 TKP ガーデンシティ京都
5月27日	第2回 理事会	京都 京都センチュリーホテル
5月27日	第1回 通常総会、研修合評会	同上
7月1日	●第1回 共通座学研修会	東京 TKP 品川カンファレンスセンター
7月20日～22日	●固有技術向上研修会 (漆塗装研修会 第Ⅰ期)	(株)小西美術工芸社 日光工房
7月24日	文化財修理技術保存連盟 総会	京都 新都ホテル
8月2日	第3回 理事会	京都 京都駅前メルパルク内会議室
9月12日～14日	●固有技術向上研修会 (丹塗・彩色研修会 第Ⅰ期)	京都 京都市文化財建造物保存技術研修センター 浄瑠璃寺、岩船寺
9月16日	第4回 理事会	京都 京都駅前メルパルク内会議室
10月14日～15日	●会員研修会	奈良 春日大社、談山神社
10月14日	第5回 理事会	京都 TKP ガーデンシティ京都
10月22日～23日	文化庁日本の技体験フェア 「ふれてみよう！文化財を守り続けてきた匠の技」 展示・体験	群馬 ヤマダグリーンドーム前橋
10月22日	全国文化財保存技術連合会 平成28年度総会	群馬 前橋マーキュリーホテル
10月26日～28日	●固有技術向上研修会 (丹塗・彩色研修会 第Ⅱ期)	京都 京都市文化財建造物保存技術研修センター 滋賀 竹生島宝厳寺
10月30日	文化財修理技術保存連盟 第1回広報委員会	京都 ザ・パレスサイドホテル
11月18日	第6回 理事会	京都 TKP ガーデンシティ京都
12月1日	●建造物装飾修理用資材研修会	兵庫 旭陽化学工業(株)
12月16日	●第2回 共通座学研修会	東京 TKP 品川カンファレンスセンター
12月26日	文化財修理技術保存連盟 第2回広報委員会	京都 ザ・パレスサイドホテル
平成29年		
2月17日	漆工技能試験 査定会	京都 京都市文化財建造物保存技術研修センター

平素は当協会の活動にご支援、ご協力賜りましてありがとうございます。  
 本年8月に「一般社団法人 社寺建造物美術保存技術協会」を設立しました。  
 今までに増して社会的責任も重く、充実した研修の企画・運営を目指していき  
 ます。

今年度は、三部会制度による研修成果の発表の場である「研修合評会」の開  
 催を皮切りに、昨年から実施しました「共通座学研修会」では「文化財修理の  
 考え方」「日本建造物装飾技術史」「装飾史」のテーマで専門講師を招へいし、  
 二回の研修でのべ四十二名の参加がありました。講義の後、テストを実施しそ  
 の理解を深めました。

「漆」「丹塗・彩色」「金具」の三部会研修では、部長ならびに講師の方が  
 積極的に活動内容を企画し、若い研修生たちに細部にわたり指導しています。  
 こういう姿こそ、伝統技術の継承だと思います。

また、今年度新たに二社が当協会に加入されました。新しい息吹きが、当協  
 会に新風を吹き込むことを期待しています。

まだまだ未熟ではございますが、これからもより一層充実した形になってい  
 きますよう努力する所存でございます。29年度も宜しくご指導、ご鞭撻をお願  
 いいたします。

代表理事 荒木かおり

## 総会報告

通常総会（平成28年5月27日）

於 京都センチュリーホテル

内容

- ・平成27年度事業報告及び決算報告
- ・平成28年度事業計画及び予算承認
- ・平成28年度三部会の活動計画について
- ・社団法人化にむけての取組み報告 他

## 平成29年度社寺建造物装飾技術者事業計画（国庫補助事業）

### 1. 建造物装飾修理用資材研修会＜対象：中級・上級技術者＞

漆や膠、地金などの建造物装飾修理に欠かせない材料についての研究・調査や、関係する現場見学及び講師を招いてその現状、問題点を検討し改善策をたて、今後の修理に活かす。

### 2. 後継者養成実技研修会＜対象：中級・上級技術者＞

文化財建造物装飾の基礎知識向上の為に、今年度も引き続き「座学研修」を行う。今回は、「所有者の文化財修復に対する想い（神社・寺院）」等の講座を予定。幅広い知識を習得することで将来の後継者養成に繋げる。

### 3. 会員研修会

各地の古社寺を訪ねて、伝統的建造物に於ける装飾分野の研鑽を深め、日本文化へさらなる広い視野をもった人材を養成する。

### 4. 固有技術向上研修会

「漆」・「丹塗・彩色」・「金具」各専門分野の技術研修会の実施。

4-1) 丹塗・彩色研修成果に対する「合評会」実施

4-2) 三部会研修の取り組み内容

- |          |                           |
|----------|---------------------------|
| ◇漆部会     | 漆生産現場での漆掻き実践及び物性テストの実施と検証 |
| ◇丹塗・彩色部会 | 流見世棚造模型 実技研修              |
| ◇金具部会    | 丹塗・彩色研修の模型に取りつける金具製作      |

### ③ 動画編集【ダイジェスト版の作成】

（建造物装飾模型制作研修で撮影した実技研修におけるダイジェスト版の編集）

○報告書と会報「すいかずら」による研修事業の成果報告（年1回発行）

① 伝承者の育成

② 技術・技能の練磨

③ 記録作成



# 「共通座学研修会」

目的：当協会技能者の教養講座として、本年度も共通座学研修会を行いました。今年は文化財修理の考え方、日本建造物装飾技術史、装飾史についての講義を講師の先生にお願いしました。次年度は「所有者の文化財修復に対する想い」等の内容で神社・寺院関係者による講義を予定しています。

場所：TKP 品川カンファレンスセンター（東京都港区）

研修日程	講座名	講師名	受講・受験者数
平成28年7月1日	・文化財修理の考え方	稲葉敦先生（（公財）文化財建造物保存技術協会）	15名
7月1日	・日本建造物装飾技術史	窪寺茂先生（建築装飾技術史研究所所長）	15名
12月16日	・装飾史	鶴岡真弓先生 （多摩美術大学教授・芸術人類学研究所所長）	27名
12月16日	・装飾史	久保智康先生 （叡山学院教授・京都国立博物館名誉館員）	27名
7月1日・12月16日	・共通座学総合テスト		のべ42名



稲葉先生講義



窪寺先生講義



鶴岡先生講義



久保先生講義



会長あいさつ



受講生の様子

昨年引き続き、本年度も7月と12月に共通座学研修会を行いました。  
7月は（公財）文化財建造物保存技術協会事業部 技術主幹の稲葉敦様に「主任技術者から見た文化財修理の考え方」、建築装飾技術史研究所 所長の窪寺茂先生に「建築装飾と装飾技術の歴史的展開」のテーマで、12月は多摩美術大学教授の鶴岡真弓先生に「日本とユーロアジアの「装飾文

様」と「生命表象」、叡山学院教授の久保智康先生に「飾金具の歴史と修理の考え方」のテーマでご講義をいただきました。  
所属部会を問わず参加可能である本研修会には、2回の研修でのべ42名の参加があり、研修生は貴重なご講義内容に熱心に耳を傾けていました。両日とも、講義終了後にテストを実施し、学んだ内容の理解を深めました。

## 「漆塗装研修会」

期 間：平成28年7月20日～22日 7名  
 内 容：天日黒目研修、日光東照宮陽明門修理現場見学  
 講 師：岩本元（株）小西美術工藝社  
 研 修 生：木村広名（株）片山）、竹内誠（岸野美術漆工業(株)、中川大輔（株）さわの道玄）、宮原義宗、百瀬友彦  
 （（一財）塩尻・木曾地域地場産業振興センター）、吉村拓磨、長谷川裕一（株）はせがわ美術工芸）



今年度の漆塗装研修会は、天日黒目研修を行いました。日本産生漆、中国産生漆、中国産生漆に鉄粉を加えたものの3種をそれぞれ舟に入れ、權で攪拌し色や重さ、粘度の変化を観察しました。漆職人でも漆黒目の経験がある人は少ないということで、大変貴重な機会となりました。

研修生はくろめた漆3種をそれぞれ持ち帰り、実際に塗り比べをした上での所感をレポートとしました。

また、研修最終日には日光東照宮陽明門修理現場見学を行いました。

## 「丹塗・彩色研修会 第Ⅰ期～第Ⅱ期」

期 間：第Ⅰ期 平成28年9月12日～14日 8名  
 第Ⅱ期 平成28年10月26日～28日 8名  
 内 容：流見世棚造模型の採寸、図案考案、原図検討会  
 講 師：彩色：小野村勇人、久安敬三（有）彩色設計）、中西友紀（有）川面美術研究所）、丹塗：片山龍馬（株）片山）  
 研 修 生：中川次郎、山本真由美（有）彩色設計）、砺波高士（株）さわの道玄）、正金夕佳（有）島津漆彩色工房）、飯本靖隆、千々和麻琴（株）はせがわ美術工芸）、浅野由大、飯尾寿子（有）川面美術研究所）



流見世棚造模型に彩色を施すため模型実物の採寸、図案考案、持ち寄った原図の検討会を行いました。研修生は模型の採寸から協力しながら、江戸期以前の時代の建造物彩色の特徴を踏まえて各々図案を考案しました。

また、第Ⅰ期は京都府木津川市の浄瑠璃寺及び岩船寺見学、第Ⅱ期には滋賀県長浜市の竹生島宝厳寺修理現場見学を行いました。

来年度、実際に模型に彩色を施す研修を行う予定です。



## 「会員研修会」

目的：各地の古社寺を訪ねて、伝統的建造物における装飾分野の研鑽を深め、日本文化へのさらなる広い視野をもった人材を養成する。

期間：平成28年10月14日～15日

場所：1日目 春日大社  
2日目 談山神社他

参加者：山内章（(一社)天野山文化遺産研究所）、片山富夫（(株)片山）、荒木かおり（(有)川面美術研究所）、横田敏行（(株)小西美術工芸社）、小野村勇人（(有)彩色設計）、澤野道玄（(株)さわの道玄）、田鹿秀夫（(株)はせがわ美術工芸）、邑田佳子（邑田漆芸(株)）、森本安之助（(株)森本鋳金具製作所）



本年度の会員研修会は、「式年造替」執行中の奈良県奈良市の春日大社及び桜井市の談山神社を訪れました。「造替」とは、ご神体を従前とは異なる本殿に移す「遷宮」と異なり、本殿の位置を変えずに建て替え、あるいは修復を行うものです。創建以来およそ二二〇〇年という長い歴史の中でほぼ20年に一度行われ、その姿が保たれています。

今回の第六十次式年造替は、平成19年の一ノ鳥居より始まり、平成28年11月の本殿遷座祭をもって完了されました。

年間を通じて行われる祭事の中でも至高の式典である式年造替の、荘厳な雰囲気を感じながらの正式参拝となりました。

また、旧宝物殿が増改築され、リニューアルオープンしたばかりの「国宝殿」の見学も行い、所蔵される国宝三五二点、重要文化財九七一点といった名宝の数々を見ることができました。

談山神社では、木造のものとしては世界で唯一現存する十三重塔の見学や、これまで修理に携わった会員会社による解説も行われました。

## 「漆工技能試験」実施

查定会：平成29年2月17日（京都市文化財建造物保存技術研修センター）

講師：鶴岡典慶氏（京都府教育庁指導部 文化財保護課 建造物担当課長）、本間幸夫氏（漆芸家）

受験者：13名（5社）【参加者 19名】



漆部会では、現在の技能到達度確認の機会として「漆工技能試験」を実施しました。受験希望者には以下の課題が出されました。

- ・ 30センチ×30センチのシナベニヤ板に布着せ本堅地を施す。
- ・ 赤中塗りを適宜施し、平滑な塗膜を形成する。
- ・ 水銀朱を用いて朱漆を各自混練し、上塗り（2回塗）を施す。

この課題に対し、2ヶ月の施工期間を経て完成した手板を「査定会」当日受験者各自が持参しました。

その手板の出来栄えについて講師の方を含め4名の方で査定いただくとともに、施工にあたり工夫した点や苦労した点についても評価いただきました。

なお、試験の結果は、認定ポイントに換算のうえ、各受験者のポイントに加算されます。

# 「建造物装飾修理用資材研修会」

期間：平成28年12月1日 18名

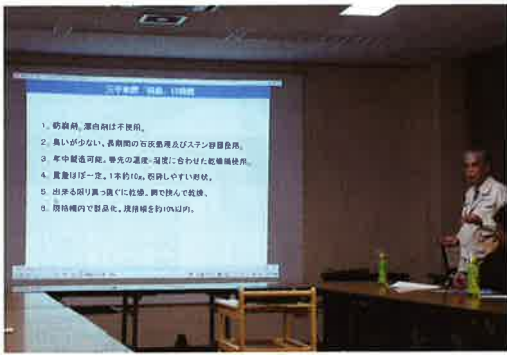
場所：旭陽化学工業株式会社 本社工場見学（姫路市）

内容：事業内容説明、DVD視聴、工場見学、質疑応答  
講師：土居昌裕氏（旭陽化学工業株式会社 技術部長）

参加者：片山龍馬、木村広名（株）片山、佐々木直美、横田敏行（株）小西美術工芸社、小野村勇人、久安敬三、中川次郎、山本真由美（有）彩色設計、中川大輔、藤原二郎、吉川諭（株）さわの道玄、島津亮介、藤岡雅人（有）島津漆彩色工房、田鹿秀夫（株）はせがわ美術工芸、邑田佳子（邑田漆芸（株）、新谷和義、中嶋正紀（株）若林工芸舎、多田牧央（有）川面美術研究所

本年度の建造物装飾修理用資材研修会は、事前に開催希望先アンケートを実施し、その結果、三千本膠・飛鳥の製造・販売元である旭陽化学工業株式会社を訪問させていただきました。

研修に先立ち、代表取締役社長の田寺康啓様よりご挨拶をいただいた後、技術部長の土居昌裕様より、会社概要、「飛鳥」の製造工程や物性についてのご説明



（左）京上膠 （右）飛鳥III

を受け、工場見学やDVD視聴をさせていただき、建造物装飾修理に欠かせない膠の性質や製造について、深く学ばせていただきました。質疑応答では、建造物装飾修理における膠使用者としての見地から実際的な質問が多く出され、それぞれに対して製造の立場からの見解をお話しいただき、大変有意義な時間となりました。

## 今年のワークショップ



日本の技体験フェア（群馬県前橋市）

ふれてみよう！文化財を守り続けてきた匠の技

期間：平成28年10月22日・23日

場所：ヤマダグリーンドーム前橋

内容：展示、壁掛け飾り製作（彩色）  
担当：（有）齋藤漆工芸、（有）川面美術研究所

文化庁主催「日本の技体験フェア」は、様々な技を持つ国内の選定保存技術団体が集まり展示や実演、体験コーナーを通じてそれぞれの技術を広く一般の方に知っていただくことを目的としたイベントです。

当協会では、昨年に引き続き展示で各部門の紹介を行い、他3団体と合同で「壁掛け製作体験ラリー」コーナーを設置し、当協会は、壁掛け飾りに彩色を施す「彩色体験」を担当しました。

本イベントには五、〇〇〇人を超える来場者があり、壁掛け飾り製作体験希望者に配付された整理券も両日とも早々になくなる盛況ぶりでした。幅広い年代の方に実際に建造物彩色で使用している岩絵の具での彩色を体験していただき、全ての製作工程を終えた完成品を見せに来てくれたお子さんもいました。



# (一社)社寺建造物美術保存技術協会 名簿


平成29年3月

No.	企業名 (正会員)	氏名	所在地	電話番号 FAX 番号
1	(一社) 天野山文化遺産研究所	山内 章	586-0086 大阪府河内長野市天野町997	0721-55-3772 0721-55-3776
2	(株)大谷相模掾鑄造所	大谷哲秀 (大谷秀一)	537-0011 大阪市東成区東今里2-6-20	06-6971-6571 06-6971-6511
3	(株) 片 山	片山富夫	601-8303 京都市南区吉祥院向田東町10	075-322-1236 075-316-6333
4	(有)川面美術研究所	荒木 かおり	616-8242 京都市右京区鳴滝本町69-2	075-464-0725 075-464-0099
5	岸野美術漆工業(株)	岸野直資	321-1404 栃木県日光市御幸町587-2	0288-53-3366 0288-54-0072
6	(株)小西美術工藝社	デービッド・アトキンソン	108-0014 東京都港区芝4-4-5三田KMビル3階	03-5765-1481 03-3455-9250
7	(有) 彩色 設 計	小野村勇人	615-8072 京都市西京区桂木ノ下町25-8	075-201-4582 075-201-4582
8	(有) 齋 藤 漆 工 芸	齋藤敏彦	250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原1285-381	0460-84-2802 0460-84-0770
9	(株) さ か い	酒井清裕	520-2331 滋賀県野洲市小篠原7-1	0775-87-1178 0775-87-5355
★ 10	(有)佐和漆工芸社	伊原建樹	321-1423 栃木県日光市七里880番地5	0288-53-3106 0288-53-3118
11	(株)さわの道玄	澤野道玄	604-8232 京都市中京区錦小路通油小路東入る空也町491	075-254-3885 075-254-3886
12	(一財)塩尻・木曾地域 地場産業振興センター	小口利幸	399-6302 長野県塩尻市木曾平沢2272-7	0264-34-3888 0264-34-2832
13	(有)島津漆彩色工房	島津達也	731-5151 広島県広島市佐伯区五日市町大字上河内791-3	082-208-2407 082-208-2407
14	(株)はせがわ美術工芸	井上貴治 (田鹿秀夫)	822-0011 福岡県直方市大字中泉今林885-26	0949-24-7211 0949-24-7221
15	邑 田 漆 芸 (株)	邑田正廣	607-8355 京都市山科区西野大鳥井町118-45	075-591-4137 075-502-0638
16	(株)森本鋳金具製作所	森本安之助	600-8321 京都市下京区楊梅通西洞院東入る 八百屋町59	075-351-3772 075-361-8877
17	(有)横山金具工房	横山智明	601-8394 京都市南区吉祥院中河原里北町14-3	075-325-4861 075-325-4862
No.	企業名 (準会員)	氏名	所在地	電話番号 FAX 番号
★ 1	(株)若林工芸舎	新谷和義	600-8218 京都市下京区七条通新町東入西境町146番地	075-371-3137 075-371-3140
No.	企業名 (賛助会員)	氏名	所在地	電話番号 FAX 番号
1	(株)堤 淺 吉 漆 店	堤 孝	600-8098 京都市下京区間之町松原上ル稲荷町540	075-351-6279 075-351-6270
2	ナカガワ胡粉絵具(株)	中川晴雄	611-0013 京都府宇治市菟道池山24番地	0774-23-2266 0774-20-4666
3	NPO 法人 丹 波 漆	岡本嘉明	629-1302 京都府福知山市夜久野町今西中710番地	080-5700-4363
4	NPO 法人 麗 潤 館	矢崎孝子	319-3526 茨城県久慈郡大子町大子705	0295-76-8777 0295-76-8779

★は本年度新規入会会員

**お悔やみ**

当協会会員の岸野勲様が去る平成28年10月14日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。




**新規入会会員紹介**

**有限会社 佐和漆工芸社** (栃木)

有限会社 佐和漆工芸社は、平成八年二月に設立し、社寺仏閣を始めとした文化財の漆・彩色塗装修理に携わっております。本社・工場の所在地は栃木県日光市にあり、国宝、重要文化財の社寺建築工事経験年数三十九年のベテランから入社一年目の新人が作業に従事致しております。弊社の歴史は浅いですが、創業以来から今日に至るまで、県内外の多くの文化財の修理を担当させて頂いてまいりました。近年はユネスコ世界文化遺産日光二社一寺境内にて国宝一件(彫刻彩色)重要文化財三件の施工・竣工、(元請・下請含む)そして県内外では、現在県指定有形文化財一件、市指定有形文化財一件、町指定有形文化財一件を施工中です。また弊社は文化財の修理を通じて、日本独自の漆・彩色技術の文化の保存と普及を目指し活動しております。多くの方々に漆や彩色に興味を持ってもらい、若い世代に漆塗・彩色塗技術を継承していけるように今後にも一層精進して参りたい所存です。

今後とも御指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



協賛団体 社寺建造物美術保存技術協会 印

事務局 〒616-8242  
京都市右京区鳴滝本町69-2 (南川面美術研究所内)  
Tel:075-464-0725 Fax:075-464-0099  
http://shabikyoo.com/



三部会毎(漆・丹塗・彩色・金具)の研修は部会長を中心に有意義な活動となりました。今年度より社団法人となり、さらに充実した研修等取組んでまいりますので、(Y) よろしくお願いいたします。